議会報告会　会場報告書

担当班：1 班　　班代表者：　　渡辺　拓道

概要			
地区名　：西紀中地区 日時　　：令和 4 年 5 月 27 日（金） 19：30～：21：20 場所　　：げんき･げんきハウス 参加人数：12 人(男 12 人･女 0 人)	【出席議員】 渡辺拓道 上田英樹 大西基雄 原田豊彦 園田依子	（1）開会あいさつ　：渡辺 拓道 （2）議会報告　　：DVD 参照 （3）質疑応答　　：下記参照 （4）意見･提言等　：下記参照 （5）閉会あいさつ　：園田 依子	挨拶･総括　　：渡辺 拓道 司会進行　　：前田 えり子 報告　　：大西 基雄 記録　　：原田 豊彦 会場（マイク）　：園田 依子

【主な質疑】

質疑・意見	回答
･議員が 6 人も来てくれて、参加者は 12 人と少ない。信頼される議会ではないのではないか。 ･300 年黒豆を作り続けて「日本農業遺産」の認定を受けた。今後どう活かすのかを聞きたい。	･たくさんの方にお越し頂ける工夫を検討させていただきます。 議会基本条例に、信頼される議会をつくっていくことを定めており、それを形にするため、議会報告会を実施しています。 ･市では、まず日本農業遺産の表記を商品等に付与する際のルールづくりを進めています。

・ふるさと納税にも力を入れるらしいが、特産物の PR に繋げるべきでないか	日本農業遺産の更なる活用については、今後の検討になります。 ・ふるさと納税は、「推進室」を新設して力を入れています。その推進室において特産物の返礼品の充実に取り組んでくれています。
・マイナポイントは新規取得者だけか。手続きはネットでやるのか。国保保険証や公金受取口座は受益者で登録しなければならないのか。	・新規取得者に限らず、前から所持していてポイントを受け取っていないのであればポイントが付与されます。国保や口座登録は受益者で登録していただきます。
・議員定数、3 人減で具体的にどんな支障があったのか、18 人に決めるときに市民アンケートを実施したのか。	・本市議会は委員会中心主義を採用しており、3 人減ったことで、審議がし尽せないところが一番困ったところです。市財政の健全化も進んだことから、市民の代表として多様な地域から多様な人材が必要と判断して、議会の充実を優先に決めさせていただきました。 ・市民アンケートなどは実施していません。
・委員会の為だけの定数か。	・委員にはそれぞれ得意分野や個々の視点があります。委員会審査には多様な視点が必要です。
・皆さんは選挙が終わった後、各地域にあいさつに行ったか。西紀中地区は議員不在で、次の選挙につながる地域であると思うが。我々はだれに相談し、意見を伝えたら良いのか。	・本市の選挙は選挙区制をとっていません。お困りごとがあれば、いずれかの議員にお伝えください。
・丹波篠山の家推進事業の目的はなにか。	・丹波篠山の気候風土に合った住まいづくりの基準を定め、「丹波篠山の家」事業を推進することで、篠山産素材の普及と在来工法の伝承及び地元建築業者の振興支援が目的で

	あり、篠山らしい景観の保持と快適な生活空間の提供を目指しています。
・高校の活性化市民会議に予算化してあったが、今さら会議するのではなく、実効的な事業費（交通費補助や教科書代の補助など）として予算化すべきだ。地元を支えてくれる子供たちへの未来への投資が必要であり、良い教育を与えてやって欲しい。	・高校の魅力向上は、県立高校だけにその高校自身が主体的に危機感を持って取り組んでもらわないと達成できないと思います。そのために、教育委員会から高校の魅力向上に効果的な具体策を構築する為に 1 年間協議させてほしいとの説明提案があり、議会で承認したものです。動向はきちんと注視していきます。
・小中学校の教育環境が非常に悪い（別紙資料で説明）。特に西紀中学校の大型改修を平成 29 年に施工したが、900 万円余り。東中学校や篠山中学校の予算規模と乖離がある。	・西紀中学校の改修は、当局側が計上した予算で充分な改修が行えるとの提案だったので承認しました。
・合併から 20 年経過するが人口が減り続けている。今後どうなるのか。	・東部地区の人口は大きく減少しています。過疎問題の特効薬はありませんが、先ほどの高校の問題も含め、企業誘致等で働ける場所の確保など、若者が地元に残ってくれるよう努力していきます。
・東部地区の議員も来てくれているが、地元は人口減少を止めるような工夫をしているのか。	・まちづくり協議会と移住者が協力して、住みやすい地域になるよう努力していただいています。移住者誘致や定住促進事業の効果なのか子どもが増えてきている状況も見られます。